

フットパスコースの見どころ案内

② 給黎城跡

目には見えない歴史を伝える山城
一見するとただの山にしか見えませんが、かつてここに給黎城があり、江戸時代初期まで政治の中心的役割を担っていました。武芸の稽古をした馬乗り馬場、激しい戦いの話が伝わる何万ヶ宇都などの地名も残っています。目には見えなくても歴史を体感、想像することができるのではないのでしょうか。島津氏がこの城を手に入れたことを祝って「給黎」を改め「喜入」の地名が誕生しました。

③ 牧瀬家武家門

そこに佇む歴史の語り手
この地域唯一残った武家門であり、その存在感から良好な景観形成に重要なものと認められるとして、平成22年に鹿児島市の景観重要建造物に指定。歴史的な雰囲気を感じさせる石塀や、そばに流れる湧水の水路を横目に歩くと、清らかな水と共に歩んできた歴史を感じることができます。

⑥ 石垣

石垣の積み方に歴史を感じる
平坦な旧麓集落から、肝付家歴代墓地や香梅ヶ淵、南方神社へ行く分かれ道にあり、高台へ登っていく境界にあります。野面積み、割石積み、切石積みという3種の積み方がみられ、ゆるやかにカーブを描きながら、ほぼ垂直に、高く積みまれています。近くに石切り場もあり、江戸時代から築かれていたと考えられ、往時を偲ばせる貴重なものです。

⑦ 香梅ヶ淵

美しい景観に隠された悲しみの涙
エメラルドグリーン色の水はとても美しく、川底が見えるほど透き通っています。四季や天気により様々な表情を見せ、神秘的な雰囲気でもまるでパワースポットのようなようです。また淵には、昔からこの地に伝承されている悲話があります。悲話を知ることでさらに美しさを楽しむことができます。

⑧ 肝付家歴代墓地

一家の物語を感じる墓所
肝付家歴代墓地は江戸時代270年に渡ってこの地喜入を治めた領主達の眠る場所です。五輪塔と呼ばれる墓石や、明治初期の仏教排斥運動である廃仏毀釈を感じる首なし地蔵を目にすることができます。島津家の家紋入りの墓石から政略結婚を間近に感じられます。明治維新で活躍した「幻の宰相」小松帯刀を生んだ地、ここを訪れて肝付家一家の歴史物語に思いを巡らせてみてください。

⑨ 南方神社

自然の神秘を感じながらリラックス
かごしま自然百選に選ばれたこの南方神社は蒲生宣清が建立し、永禄8年(1565)に島津一族の喜入季久により再建されました。鳥居をくぐると木漏れ日に照らされた社殿が姿を見せます。境内にはクスノキやクロジの大木が立ち並び、その姿には圧倒されます。また映画「ゆずの葉ゆれて」のロケ地にもなっています。

喜入の城下町

もとふもと

旧麓れまし フットパスマップ

喜入旧麓地区のフットパスコースは、約1.5 kmの中に中世のおもかげが残る武家門や水路などの見どころをコンパクトに楽しむことができます。また、同地区は平成30年3月に鹿児島市の景観形成重点地区に指定されました。

交通アクセス

- ◆徒歩: JR 喜入駅から約30分
- ◆車: 鹿児島市街地から約1時間
国道226号を南下
→喜入旧市交差点を右折
→県道232号を南九州市方面へ
→JR指宿枕崎線上の陸橋を通過し、左側の道路・旧麓地区へ
- ◆その他、かごしま市コミュニティバス「あいばす」もあります。
あいばすのお問い合わせ先: 099-216-1113 (鹿児島市交通政策課)



グリーンファームの案内

グリーンファーム(鹿児島市観光業公園)は喜入旧麓地区から車で約10分の場所にあり、季節ごとの野菜収穫やピザづくりなどの体験ができます。また、農産物直売所や農園レストラン、遊歩道、キャンプ場、遊具などもあり、日帰りから宿泊まで楽しむことができます。

発行・お問い合わせ

鹿児島市観光農業公園運営協議会 電話 099-345-3337 FAX 099-345-2822



グリーンファーム
ホームページ

見どころ案内の説明は、鹿児島国際大学太田ゼミ及び旧麓自治会によるものです。

※説明の番号は、中面のマップの番号に対応しています。

フットパスとは、イギリスを発祥とする森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径(こみち)【Path】のことです。

2018年10月印刷

喜入の城下町 もとふもと 旧麓れきしフットパスマップ

みなみかたじんじや
◎南方神社



南ヶ城

本城

北之城



大昭橋からの眺望

○フットパスを楽しむために
 ・交通ルールを守って安全に楽しみましょう。
 ・私有地には立ち入らないようにしましょう。
 ・住んでいる方の迷惑になるような行為は慎みましょう。
 ・駐車場は、ふれあい広場にあります。
 路上駐車は慎みましょう。

明治維新に活躍した「幻の宰相」小松帯方の父、11代肝付兼善の墓もあります。



きもつきれきだいぼち
◎肝付家歴代墓地

肝付家歴代墓地から桜島を眺める



水路のある通り



まきせけぶけもん
◎牧瀬家武家門



たのかんさあ
◎田の神さあ

P
ふれあい広場

きれじょう
◎給黎城跡説明板



水路のある通りを眺める

← 順路
◎南方神社まで約1.5km 徒歩約40分

◎石垣



たいしょうばし
◎大昭橋



せき堰



八幡川

こべがふち
◎香梅ヶ渚



香梅ヶ渚に伝わる悲話 【出典】かごしまデジタルミュージアム

昔、時の領主が家来や侍女と花見の宴を開いた際、香梅という美しい侍女の帯がすれ合って音がした。殿様をはじめみんなが香梅がおならをしたと思った。その時、家来の1人が「杯を清流に投げ入れて、下流に流れれば潔白が証明される」と叫んだ。香梅がその通りにすると、なぜか杯は上流に流れ始め、渚の地形を知らない香梅は失望し、渚に身を投げてしまった。この哀れな香梅を偲んで、人々はこの渚のことを「香梅ヶ渚」と呼ぶようになった。

もとふもとけんしゅう
◎旧麓研修センター



ビューポイント

P 駐車場

大昭橋から桜島や田園風景を眺める

